

1. 第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会の設立

○第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会の設立

平成26年4月17日、地元関係機関が連携して開催に向けた準備や関連事業、歓迎事業などの主要な事業を実施していくため、既存の「第3回国連防災世界会議仙台開催推進協議会」を再編し、「第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会」(以下、「実行委員会」)を設立。

○実行委員会委員(敬称略)

会 長 仙台市長 奥山 恵美子
副会長 国立大学法人東北大学総長 里見 進
一般社団法人東北経済連合会 会長 高橋 宏明
東北六県商工会議所連合会 会長 鎌田 宏
委 員 内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官
(普及啓発・連携担当) 齊藤 馨
復興庁 政策統括官付参事官(広報・国際) 今西 淳
外務省 地球規模課題総括課長 飯田 慎一
青森県 副知事 佐々木 郁夫
岩手県 副知事 千葉 茂樹
宮城県 副知事 若生 正博
秋田県 副知事 橋口 昌道
山形県 副知事 細谷 知行
福島県 副知事 内堀 雅雄
宮城県警察本部 本部長 横内 泉
仙台経済同友会 代表幹事 大山 健太郎
株式会社河北新報社 代表取締役社長 一力 雅彦
仙台空港ビル株式会社 代表取締役社長 伊藤 克彦
東日本旅客鉄道株式会社仙台支社 支社長 松木 茂
一般社団法人宮城県タクシー協会 会長 佐々木 昌二
公益社団法人宮城県バス協会 会長 青沼 正喜
仙台ホテル総支配人協議会 会長 紺野 純一
宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長 佐藤 勸三郎

委員 仙台市連合町内会長会 会長 阿部 欣也
みやぎ連携復興センター 代表 紅邑 晶子
特定非営利活動法人イコールネット仙台代表理事 宗片 恵美子
公益財団法人仙台観光コンベンション協会 副理事長 守 修一
参与 国際航業株式会社(国連国際防災戦略事務局プライベート・セクター・
アドバイザリー・グループ) 代表取締役会長 呉 文 繡
監事 仙台商工会議所 専務理事 間庭 洋
仙台市 会計管理者 土屋 政一

2. 本体会議会場の整備

○会場関係

・平成26年2月：新展示施設建設着手
本体会議のメイン会場として隣接する
仙台国際センターと併せて使用される
想定。

新展示施設、平成26年12月下旬に
完成予定。



↑ 新展示施設の完成の
イメージ

← 新展示施設での
会議のイメージ

3. 各種準備の状況

○宿泊関係

- ・平成25年12月13日：宿泊予約センター運営管理業務に関する協定締結
- ・平成26年1月：宿泊予約センター立上げ
(株)JTB東北が宿泊施設・客室確保等に係る各種調整を開始。

○参加者輸送等、交通関係

- ・平成26年3月14日～15日：1年前交通状況シミュレーションの実施

○関連事業の計画策定

- ・平成25年12月：計画策定業務委託契約締結
- ・平成25年12月～平成26年3月：関連事業の総合的な計画を策定。

○関連事業の公募

- ・平成26年3月14日：今後関連事業の公募を行っていくことを周知するために、プレ告知を実施。ホームページに掲載するとともに、関係機関・団体等に送付。

4. 関連事業のプレ告知の実施

第3回国連防災世界会議 開催都市 仙台



第3回国連防災世界会議 関連事業にご関心のある皆様へ（プレ告知）

平成 26 年 3 月
仙台市国連防災世界会議準備室

平成 27 年（2015 年）3 月 14 日（土）から 18 日（水）にかけて、仙台市において第 3 回国連防災世界会議が開催されます。この会議には、世界各国から首脳・閣僚、政府関係者、国際機関代表、国際 NGO 等防災の関係者が集まり、新たな国際的な防災の行動枠組が決定される予定です。

東日本大震災の発災からおよそ 4 年後に、被災地である仙台市において開催されるこの会議は、震災時に世界各国から受けた支援への謝意を示し、震災から得られた教訓や復興に向けた取り組みを改めて国際社会へ発信・共有するとともに、日本をはじめ世界の防災に関する最新の知見を集約し、世界の防災文化の発展に寄与する絶好の機会です。

この会議に合わせ、防災や復興に関する発信を行う事業を「第 3 回国連防災世界会議 関連事業」として、今後、広く募集する予定です。関連事業には、本体会議参加者を含め、国内外から延べ 4 万人以上が参加することが見込まれており、現時点での情報は以下「募集の概要」のとおりです。具体的な募集の手続については、今後、ホームページ等にて随時ご案内してまいります。

■ 募集の概要 ■

1. 募集する事業の実施期間

平成 27(2015)年 3 月 14 日（土）～18 日（水）
（本体会議の開催期間中）

2. 応募できる団体

政府機関、地方自治体、大学・研究機関、
NGO・NPO、企業・地域団体 等

3. 募集する事業の種類

- ① シンポジウム、セミナーなど会議形式のイベント
- ② 展示（ブースでの出展、ポスター・パネル展示等）

4. 関連事業で使用する会場（予定）

仙台市民会館、東京エレクトロンホール宮城 等
（大・小ホール、会議室、展示室 等）

* 前回兵庫会議では、関連事業の実施は会議開催自治体に限られていましたが、今回は青森県、岩手県、宮城県、福島県内で開催する事業についても、関連事業として採択される可能性があります。詳しくは、今後随時ご案内してまいります。

■ お問い合わせ先 ■

仙台市国連防災世界会議準備室 大内
TEL: 022-214-8631 FAX: 022-214-8497
e メール: kazune_ouchi@city.sendai.jp

会議の概要については
「国連防災世界会議 仙台」とご検索ください。

URL: <http://www.bosai-sendai.jp>

■ 応募にあたってご留意いただく点 ■

- ・ 募集は、本年 4 月に設立される予定の「第 3 回国連防災世界会議仙台開催実行委員会」（仙台市、東北各県、東北の経済界等から構成）が行います。
- ・ 日程及び会場は、応募内容をもとに実行委員会が割り振りを行います。
- ・ 事業の実施にかかる費用（会場及び設備使用料、展示費用等）は、原則として各主催団体のご負担となります。
- ・ 応募や事業実施に当たっては、英語での表記等が必要になります。

■ 関連事業に採択されると ■

- ・ 一定の条件のもとに国連防災世界会議の公式ロゴマーク使用ができます。
- ・ 実行委員会が行う会議の広報活動において、事業を紹介します。
- ・ 実行委員会が作成する全体プログラムへ事業概要等を掲載します。

* 記載の内容については、今後変更になることがあります。

参 考

■ 前回会議における公募申込での記載項目 ■

前回会議（兵庫）では、関連事業として事業を実施する場合、各主催者は実行委員会の公式ホームページから応募しました。今回も類似の手続きを想定しています。前回の公募にあたっての記載項目は以下のとおりで、日本語・英語の 2 言語での記載が必要でした。

《兵庫会議での記載項目》

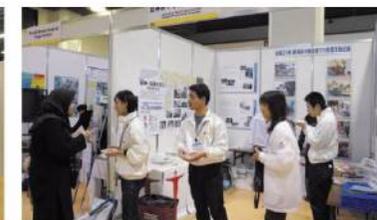
- ・ 主催団体名（和文・英文）、所在地、担当者名（和文・英文）、連絡先
- ・ 防災に関する主な活動内容（100 字以内）
- ・ 催事タイトル（和文・英文）、催事概要（和文 300 字以内、英文 250 単語以内）
- ・ 参加予定人数 または 展示希望コマ数
- ・ （シンポジウムのみ）希望日時、希望会場
- ・ （シンポジウムのみ）通訳者（同時通訳機器）の使用の有無

■ 第 2 回会議（2005 年 兵庫）の様子 ■

【シンポジウム】



【展示】



5. 関連事業の展開イメージ

総合フォーラム

- 総合フォーラムは、「防災・減災社会の創造に向けて（仮）」を基本テーマとして、日ごとに個別テーマを設定。
- 兵庫行動枠組の優先行動に沿ったテーマや東日本大震災の経験・教訓についてテーマとして検討。

シンポジウム・セミナー

- シンポジウム・セミナーは、多様な方々の参画を想定し、複数会場を準備。
- 被災四県でもシンポジウム・セミナーを実施予定。
- 多様なテーマでのシンポの他に、仙台市では「市民協働」「女性と防災」などの特色あるテーマを重点的に実施

総合展示

- 総合防災展では、被災自治体が一体となって東北の防災・復興に関する展示を実施。
- 民間企業とも連携して、防災産業展を別会場で同時開催予定。

東北大学川内萩ホール



東京エレクトロンホール宮城



せんだいメディア・テーク(総合防災展)



仙台市民会館



エル・パーク仙台
(女性と防災 テーマ館)

夢メッセみやぎ(防災産業展)



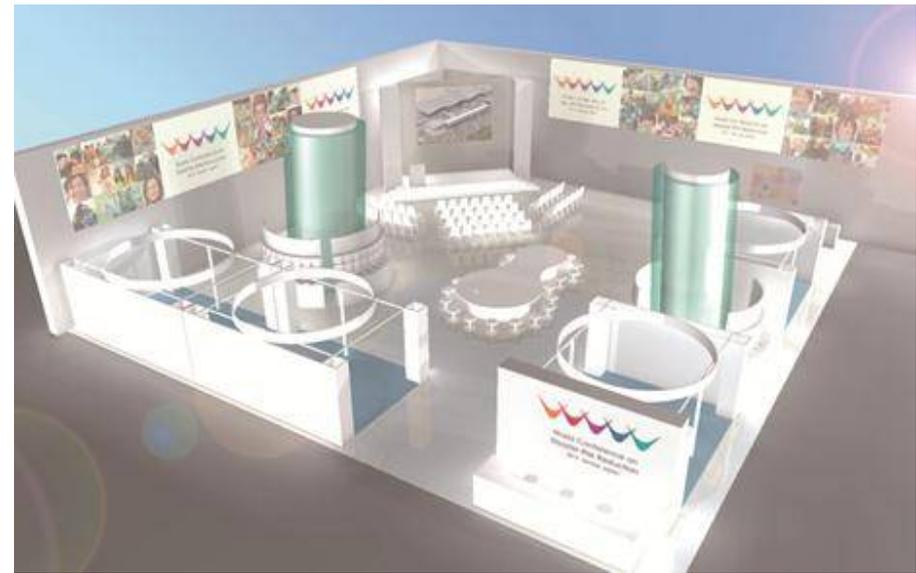
6. 総合展示「東北の防災復興展」

○ せんだいメディアテーク1階オープンスクエア「東北の防災復興展」

宮城県内全市町村及び青森県、岩手県、宮城県、福島県と連携し東北の防災・復旧・復興に関する展示を実施。震災の経験や教訓を世界へ発信する「シンボル拠点」とするとともに、海外・国内から訪れる人々に、仙台・東北の魅力を広くアピールする。



↑ せんだいメディアテークの外観



↑ 「東北の防災復興展」のイメージ

7. 歓迎事業の展開イメージ

○ 地元主催歓迎レセプション

東北の魅力溢れるアトラクションに加え、東北の豊かな食材でおもてなし。



↑ 地元主催歓迎レセプション会場
ホテルメトロポリタン仙台
宴会場「千代」

↓ 伊達政宗騎馬像(仙台城跡)

○ スタディツアー・エクスカーション

沿岸部の復興プロジェクト、東北の魅力ある観光資源など多様な視察プログラムを準備。

被災した「南蒲生浄化センター」で行う生活排水を取り込んでオイルを生産する「藻類バイオマス」の研究・開発 →



世界遺産・平泉
(岩手県) →



○ 東北おもてなしセンター

東北の観光情報などを提供するおもてなしセンターを設置し、東北の魅力を発信。



8. ボランティアの育成

○平成26年4月17日：募集開始

第3回国連防災世界会議仙台開催推進協議会の実行 会への再編と同時に、語学ボランティアの募集を開始。会議の開催まで数回の研修を実施し、会議に参加する方々の案内誘導等をお手伝いいただく。



Heat City for
World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回国連防災世界会議 語学ボランティア募集

会議に参加する方々の案内誘導等をお手伝いいただく
「語学ボランティア」を募集いたします。

日 期 2015年3月14日(土)～18日(水)
立 場 新幕張演説、仙台国際センター 等
参加費 各国語別、開催、国際機関代表、国際認定NPOなど3千人、
開催事業全体で延べ4万人以上の参加を想定
<http://www.bousai-sendai.jp/>

仙台市
SENDAI CITY

World Conference on Disaster Risk Reduction 2015 Sendai Japan

第3回国連防災世界会議 語学ボランティア募集要項

■ 募集要項

活動期間 「予定」2015年3月12日(木)～15日(日)
活動内容 活動内容により異なりますが、概ね午前7時から午後7時までの時間帯(最大8時間/日)で活動していただく予定です。
活動場所 国際防災世界会議＝仙台国際センター(仙台国際センター等)
および関連事業会場(仙台メディアターミナル等)、仙台空港、仙台駅等
活動内容 ・会場内外での案内誘導業務
・会場、駅・空港ブースでの案内業務
・ツアー等にご一緒同行、案内業務 など
募集人数 250～300名程度
金 銭 交通費(2,000円/日)を支給いたします。
活動時間等へ応じて、食事または食料代を支給いたします。
事務局のボランティア提供依頼・加入いたします。
応募資格 ・2015年1月1日現在、満18歳以上の方(ただし高校生は除く、国籍不問)
「国際防災世界会議」の開催趣旨に賛同し、協力できる方
・前年度(2014年6月30日現在)に参加経験のある方
・面接試験(2014年7月)および面接前(面接前)に参加経験のある方
・会場参加者と同等以上のコミュニケーションがとれる能力を有する方
(TOEIC500点以上もしくはTOEFL500点以上のレベルが望ましい)
・障がい者、活動期間中3日以上活動できる方

■ 応募及び研修方法 下記サイトよりお申し込みください。
詳細をお問い合わせください。
お問い合わせ先: <http://bousai-sendai-volunteer.jp>
お 募 集 切 断 日: 2014年5月30日(金) 17:00
または、お電話(TEL)でも、色紙、履歴書、年齢、住所、電話番号、Eメール、活動可能日(3/12～3/15)の欄用、要領力の1～5点(1～5点)、OHP(10点程度)等に記入の上、応募事務局まで郵送のご応募ください。
お問い合わせ: 第3回国連防災世界会議 仙台市ボランティア事務局 (TEL: 022-248-9401 FAX: 022-248-9402) (Eメール: bousai@bousai-sendai.jp)
仙台市ボランティア事務局
〒980-0001 仙台市青葉区中央1-1-1
TEL: 022-248-9401 FAX: 022-248-9402 URL: <http://www.bousai-sendai.jp/> E-mail: bousai@bousai-sendai.jp

9. 広報・普及啓発関係① (ホームページ)

○ホームページ(URL: <http://www.bosai-sendai.jp/>)

・平成25年11月:ホームページ立上げ

「第3回国連防災世界会議」開催に向けて開催地元から情報発信を行った。

・平成26年3月14日:ホームページリニューアル

デザインを変更するとともに、被災地の防災や復興に関する取り組み等取材し世界へ向けて発信していく「ミライのキズキ」プロジェクトのページを公開。



← 平成26年3月14日より、
リニューアルしたホーム
ページ

10. 広報・普及啓発関係②（1年前シンポジウム）

○平成26年3月1日：1年前シンポジウムの開催

市民への普及啓発や開催機運の向上などを目的に「1年前シンポジウム（主催：仙台市 共催：東北大学災害科学国際研究所、(株)日本政策投資銀行、(株)河北新報社）」を開催。自治体の首長や職員、大学などの教育機関関係者、民間団体・企業関係者や市民など約330名が来場し、会場は満席となった。

※ 主なプログラム

- ・あいさつ 仙台市長 奥山恵美子
- ・基調講演 「国際防災と日本の役割について」
内閣府 大臣官房審議官(防災担当) 佐々木 克樹 氏
- ・パネルディスカッション 「『第3回国連防災世界会議』仙台開催と『防災・減災』、『復興』の未来」
＜パネリスト＞
内閣府 大臣官房審議官(防災担当) 佐々木 克樹 氏
東北大学災害科学国際研究所副所長 今村 文彦 氏
(株)日本政策投資銀行常務執行役員 橋本 哲実 氏
仙台市副市長 伊藤 敬幹
＜コーディネーター＞
(株)河北新報社 論説 会長 沼倉 良郎 氏

1年前シンポジウムの様子 →



11. 広報・普及啓発関係③ (広報グッズ)

○その他広報

- ・平成25年11月～: 各種イベントでのPR
防災関係の展示会やシンポジウム
など各種イベントでのプレゼンやパネル
出展等により、PR活動を開始。
- ・平成26年3月: 広報グッズの作成
公式ロゴを活用したピンバッジ、
缶バッジを作成。

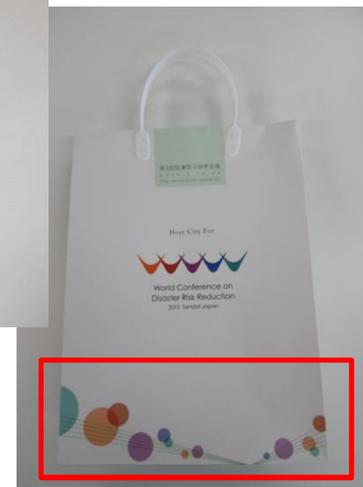


↑ キービジュアルを利用したポスター

↓ 公式ロゴを活用した缶
バッジ・ピンバッジ



↓ 公式ロゴとキービジュ
アルを活用した紙バッグ



← 仙台市作製の封筒にも、公式
ロゴを活用し広報・啓発を図っ
ている。

- ・平成26年3月: キービジュアルの策定
ポスターやチラシ、紙バッグその他様々な媒体において
使用していく、今後の広報活動のベースとなるキービジュ
アルを策定。
- ・平成26年4月: ポスター、チラシの作成
キービジュアルを活用したポスター及びチラシを作成。
実行 会の設立と同時に広報を開始した。